

## 整形外科

### 【実習目標】

外来で初診患者の医療面接を行い、診察法、診断および外来処置について学習する。  
病棟で入院患者を診察し、病棟での治療内容、手術内容および術後の機能訓練について学習する。  
整形外科手術を手術室で見学して、整形外科の手術的治療について学習する。  
整形外科の主要疾患を効率よく学習し、鑑別診断の方法や治療の方法について理解する。  
知識、技術のみでなく、医師としての心がまえ、態度を習得する。

### 【行動目標(到達目標)】

1. 医療面接  
患者の病態に関して、必要な情報を取捨選択し、整理できる。
2. 診断  
運動器疾患に関する視診、触診、計測、神経学的診察法について理解し、説明できる。  
単純X線検査、脊髓腔造影検査、CT検査、MRI検査の基本的事項を理解し、結果を解釈できる
3. 主要疾患の病態と治療  
主要疾患の病態を理解し、鑑別診断の原則に基づいて診療の計画を立案することができる。  
主要疾患の治療法について理解し、説明できる。  
症例を要約する習慣を身につけ、適切な時間で提示できる。
4. 術前・術後管理  
運動器疾患の術前・術後管理について理解する。
5. 手術において清潔の概念を理解し、実践できる。
6. 医師の守秘義務  
医師の守秘義務について理解し、履行できる。

### 【実習内容】

1. 月曜日のオリエンテーション時、学生1人ずつに指導医が割り当てられる。  
担当患者を指導医とともに診察し、その疾患に関してレポート作成および発表(金曜日)を行う。
2. 火、金曜日は指導医師の指示に従い、手術室で手術を見学する。
3. 水曜日の病棟総回診で、整形外科入院患者全般の治療内容と治療体系を学習する。
4. 月・水・木曜日の午前中は、病棟で脊椎・腫瘍・手・股関節・膝関節・リハビリ領域の疾患を学習、  
外来で初診患者の病歴を聴取後、診察および治療を見学する。
5. 水曜日の午後は整形外科的特殊検査を見学する。
6. 月・木曜日の午後は指導医師の指示に従い、病棟で学習する。

### 【注意事項】

1. 白衣を着用すること。
2. 手術室に入る時は、手術衣に着替え、帽子とマスクを着用すること。
3. グリーンシート(清潔、消毒済を表す)には不潔な手で絶対に触らないこと。  
もし、誤って触った場合は直ちに報告すること。
4. 患者さんに接する時の注意。
  - a. 頭髪を清潔にすること。
  - b. ネクタイをつけること。
  - c. ズボンは折り目の入ったものを着用すること。
  - d. 靴を履くこと。(下駄、サンダルは禁止)
5. 相手に不快感をあたえないような丁寧な言葉を使うこと。
6. 患者さんの情報が流出しないように厳重に管理すること。
7. 医師になるべき者としての十分な自覚を持ち、実習にあたること。

### 【評価方法と配点】

1. 実習全体における姿勢、態度、取り組み(25点)
2. 手術室における清潔の概念の習得度(25点)

### 3. 症例発表における疾患の理解度(50点)

#### [日程表]

	8:00	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:00	18:00	
月		講義 久保	講義 田中	講義 中前	外来実習、医療面接 (外)	講義 横矢	昼食	ビデオ (研)	病棟実習 (病)	
火					手術見学 (手術室)		昼食	手術見学 (手術室) 手洗い実習	リサーチ カンファレンス (研)	
水		病棟 (病総 回診)	講義 四宮		外来実習、医療面接 (外)		昼食	検査見学 (放射線部)	クリニカル カンファレンス (研)	
木			講義 山崎		外来実習、医療面接 (外)		昼食	病棟実習 (病)		
金					手術見学 (手術室) 手洗い実習		昼食	手術見学 (手術室) 手洗い実習	クリニカル カンファレンス (研)	

#### 担当教官

所属: 大学院医歯薬保健学研究院

安達 伸生 教授 (運動器全般、膝関節)

股関節 山崎琢磨 寄附講座准教授 庄司剛士 寄附講座助教

腫瘍 久保忠彦 准教授

膝関節 安達伸生 教授 中前敦雄 診療講師 石川正和 診療講師

脊椎・脊髄 中西一義 講師 亀井直輔 病院講師

手外科 砂川 融 保健学科教授 四宮陸雄 診療講師

肩 横矢 晋 診療講師

足 安達伸生 教授 中佐智幸 診療講師

#### 連絡先

久保忠彦 准教授

Tel: 082-257-5231

kubot@hiroshima-u.ac.jp